

本日ここに北海道白老東高等学校創立 30 周年記念式典を挙げるにあたり、ご多忙の中ご来賓として北海道議会議員 神戸典臣様、北海道教育庁胆振教育局長 阿部清明様を始め、同窓生の皆様、PTA の皆様、そして本校に奉職された教職員の皆様など、全道各地から多くの方々のご臨席を賜り、挙行できますことに衷心より御礼申し上げます。

顧みますと、昭和 62 年、時代の要請と地域住民の高校設置への熱い思いにより、晴れた日には北東に樽前を仰ぎ、目を転ずれば太平洋を望む自然豊かなこの地に北海道白老東高等学校として開校し、本年 30 年目を迎えるに至りました。

現在の校訓である「自彊 聡明 礼節」は初代 水野明章校長によって定められ、人格を形成するものは、単なる知識や技術だけでなく、学校教育をとおして、学ぶことの喜びを伴う力強い自主・自律の精神、知識を育む聡明さ、礼節をとおして得る謙虚さや寛容な心をもつ日本人の育成を基本方針に白東精神の礎を築いたものであります。

志を立てその達成に向けて日夜努力を続けた生徒諸君と、教育を人生の使命とした情熱ある教職員、さらには常に学を見守り絶大なるご支援をいただいた PTA や同窓会など、本校に関係した歴代の皆様が一体となってよりよき学校づくりに心血を注ぎ、本校は北海道の高校教育界に確固たる地位を築き上げることができました。今、30 周年を迎える時、これまでの皆様のご苦勞に白老東高校を代表し心より感謝申し上げたいと存じます。

変遷する時代の中で、30 年の星霜を重ね 3730 名の卒業生を社会に送りだし、地元白老町内はもとより、道内外の様々な分野で活躍しております。

汗を流すことを厭う、誠実さをあざける、刹那的に漂流する社会風潮も見られる時代ではありますが、本校は 30 年間、悪しき風潮に流されることなく、一貫して教育の本道を歩み、校訓に象徴されるように、本校の人間教育はゆるぎなく継承され、勉学はもとより、生徒活動や部活動、ボランティア活動に取り組みました。

さて、参列している生徒諸君、今式典に参加している在校生は、伝統の規律ある校風の中、知性を磨く学習に、自分の力を倍増する文武両道に、健康な心身づくりに、そして第一志望の実現に懸命に取り組み成果を上げました。平成十年より取り組んだ三者協議会も教育課程に定着し、先輩の積み上げてきた伝統を享受するとともに、それらを維持・拡充していく使命があります。どうか次の五年、十年の節目に向かって力強く進んでください。

本日、30 周年を記念し、応援歌を作り記念すべき日に制定いたしました。開式前にこの会場で流しましたが、記念 DVD にも校歌とともに収録しています。永遠に諸君を応援し続けて止まないことでしょう。

本校校章のかがり火と翼は、本校教育の理念、「自ら未来を切り拓き、前向きに努力する若者」の姿を意味しています。私も、新たな教育環境の中で生徒諸君の未来に大きな成果をもたらすよう、保護者、地域の皆様とともに、知恵を絞りながら努力していくことを、ここにお誓い申し上げる次第であります。

結びに、創立 30 周年という節目の年にあたり、改めてこれまでの歴史に思いを致すとともに、これまで以上に生徒や保護者の皆様、卒業生、町民の皆様の期待に応えられる教育に邁進して参ります。本日ご臨席の皆様方には、今後とも本校の教育活動に対して、ご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げ、式辞と致します。

平成二十八年十月二十九日

北海道東高等学校長 山下 雅巳